

りんご

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース



令和4年4月発行



～青森学習センター・八戸サテライトスペース学位記授与式と入学者のつどい～

(4月2日・4月3日撮影)

～本部学位記授与式～

(3月23日撮影)



祝卒業・入学／学生生活応援号



2 | 巻頭言「ピアニスト」浅野 清 所長

3 | 退職のご挨拶

4 | 2021年度第2学期学位記授与式、
学生表彰、本部学位記授与式、
卒業生・修了生のことば

6 | 2022年度第1学期入学者のつどい、
学生生活をスムーズに送るために

7 | “Professional Report” 尾崎 名津子 先生

8 | 2022年度第1学期 客員教員からのごあいさつ

10 | 各種学生団体のごあんない
〈青森同窓会・学友会・ミステリーサークル・サイコロサークル〉

11 | 4・5・6・7月のスケジュール

12 | 事務室からのお知らせ



放送大学青森学習センター
八戸サテライトスペース
事務局

巻頭言

—かんとうげん—

ピアニスト

青森学習センター所長 浅野 清



「ピアニスト」というと華やかなソリストを想像しますが、他にも様々なタイプのピアニストが存在します。楽器の伴奏や室内楽、ドイツ歌曲、オペラの伴奏を得意とする人など、出発点はソロ・ピアニストを目指しながらも、自分にしかできない道を究めることがあります。

ドイツの音楽大学を修了する機会に、長い学生生活に終止符を打ちたいと考えていたところ、学長から大学附属バレエ・アカデミーの伴奏担当講師を打診されました。小学校3年生から7年間習っていた経験から「バレエ伴奏」がどのようなものかおおよそ見当がついたこともあり、躊躇なく引き受けたのが社会に出る第一歩になりました。

バレエ伴奏の仕事はまず、毎日のバーレッスンのための音楽を供給することが主になります。既存の音楽を使うことは殆どなく、タイミングや内容、対象ダンサーの習熟度・性別との適合性が確実なとき以外は避けるようにします。ダンサーが気持ちよく訓練を続けられるようお手伝いすることが大切になるので、教師が与えるレッスン内容に合わせ、瞬時に拍子、テンポ、フレーズを決めて音楽を作り出さなければなりません。1.5時間で10種類以上、即興での演奏をすることになるので、2クラス続けると疲労困憊します。

この仕事を2年間続けた後、日本に帰国し最初に得た仕事も東京バレエ団（旧名はチャイコフスキー記念東京バレエ団）のバレエ伴奏でした。普段のレッスン伴奏を初め、客演のジョルジュ・ドン（20世紀バレエ団）を含む地方巡業に同行したり、パリ・オペラ座バレエ学校来日公演のレッスン伴奏、そして「世界バレエ・フェスティバル」（NHKホール）ではバレエ伴奏者としての最終目標であるダンサーと同じ舞台上で演奏するなど、大きな経験をさせてもらえました。

その後大学での音楽教育・研究職に就き、華やかなピアニストになることはできませんでしたが、自分にしか持ちえない経験を教育に生かすことができたのではないかと考えています。

浅野所長による
学習相談・ゼミ
ごあんない

相談分野 ▶ 音楽全般

相談日 ▶ 火～土曜（祝日を除く）

ゼミ ▶ 指定の水曜または土曜 10:30～12:00

『ピアノ作品に見る作曲家たちの音楽』

※ゼミ開講日については、案内チラシをご覧ください。6月は水曜日に、その他は土曜日に開講いたします。

退職の ご挨拶

「出会いと学びへの感謝」



青森学習センター客員教員 尾崎 名津子

2019年4月から3年間、学習相談とゼミを担当させていただきました。ゼミでは大正時代の短篇小説を受講者の方と読んだり、近代以降の日本と上海との関係を文学者がどのように描いてきたかを考えたりしてきました。その過程では受講者の方から多くのことを学びました。最初の頃に「津軽を愛してください」と仰っていたことを、これまでふとした時に何度も思い出しておりました。この地域での暮らし方、人生の楽しみ方を沢山教えていただいたと思っております。かけがえのない出会いに感謝申し上げます。

また、2021年度は初めて面接授業も担当させていただきました。むつ市出身の映画監督・川島雄三の文芸映画を観ながら、普段のゼミではお会いしたことのなかった皆様と濃密な時間を過ごさせていただきました。授業中や休み時間に受講者の方々とお話しできたことが大変嬉しく、ありがたい時間でした。これもまた、かけがえのない出会いです。

皆様の学ぶことへの期待や熱意を全身で感じる日々でした。私にも多くの学びを授けてくださったことに、心から感謝申し上げます。青森学習センターの皆様には大変お世話になりました。様々に貴重な機会を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

どうぞお元気でお過ごしください。またお目にかかれる時は笑顔で、ノーマスクで！と思っています。

「出会いに感謝」

八戸サテライトスペース 佐藤 香織

6年8ヶ月八戸サテライトスペースで受付職員として勤務させていただきました。たくさんの学生さんと接する機会も多く、振り返れば様々な思い出があります。放送大学での仕事は常に新しい出会いがあり、ときめきがありました。

様々な年齢の学生さんとの出会いは私自身も学ぶところが多々あり、何事にも挑戦している姿に啓発され、たくさん刺激を受けました。

最後に、放送大学で勤務する中で関わった皆様には大変お世話になりました。

出会えたすべての方々に言葉で言い尽くせないほど支えていただきました。ありがとうございました。

「退職のご挨拶」

八戸サテライトスペース 赤坂 春花

2016年12月～2017年3月八戸市臨時雇用職員として、2017年4月より放送大学に図書・受付として勤務し、5年の任期満了を迎えました。

私自身、「放送大学とは？」からのスタートでした。私も学生となり経験をし、学生さんと同じ立場に立ち、単位の取り方から何まで放送大学について勉強させていただきました。学生のみなさんからの問い合わせに答えながら、仕事の知識も学ばせていただいたようなものでした。こんな私でも微力ながらも、学生のみなさんのお役に立てていたのならば幸いです。

この5年4ヵ月、たくさんの学生さん、大学教授、先生方に出会いお仕事できたこと、うれしく思います。ありがとうございました。



2021年度第2学期学位記授与式

2021年度第2学期学位記授与式が、4月2日（土）青森学習センター、4月3日（日）八戸サテライトスペースにて行われました。今回、卒業・修了を迎えた学生方は、青森SC・八戸SSをあわせて40名。式当日は出席者ひとりひとりに浅野所長から学位記が授与されました。卒業・修了生の皆様、このたびはおめでとうございます！！



青森学習センター



八戸サテライトスペース

〈教養学部〉卒業生の内訳（青森SC計18名・八戸SS計19名）

- 青森 SC 生活と福祉… 5名／心理と教育… 5名／社会と産業… 4名／人間と文化… 3名／情報… 1名
- 八戸 SS 生活と福祉… 6名／心理と教育… 6名／社会と産業… 1名／人間と文化… 3名／情報… 1名／自然と環境… 2名

〈大学院文化科学研究科〉修了生の内訳（青森SC計2名・八戸SS計1名）

- 青森 SC 生活健康科学プログラム… 1名／臨床心理学プログラム… 1名
- 八戸 SS 人間発達科学プログラム… 1名



第11回 放送大学青森学習センター学生表彰

青森学習センター・八戸サテライトスペース所属学生の生涯学習に対する奨励を目的として、平成26年度より「放送大学青森学習センター学生表彰」を行っています。

今回は、八戸サテライトスペースの卒業生1名が6回目の卒業を迎えられ受賞者となり、長年にわたり学業に励んだ功績を称え、所長から表彰状と記念品が授与されました。また、あわせて名誉学生の表彰も受けられました。

このたびはおめでとうございます。今後も飽くなき向学心で学業に励んでください！！



2021年度 放送大学学位記授与式

3月23日（水）、東京・両国の国技館にて2021年度放送大学学位記授与式が行われ、全国から集まった2021年度第1学期・第2学期の卒業生・修了生が式に臨みました。



青森SC・八戸SSをはじめ、全国の卒業生・修了生の皆様、おめでとうございます！！皆様の晴れやかな姿が、のちに続く学生方においても励みになることでしょう。在学生の皆様も、卒業のあかつきには是非ご出席を！！

「私の心の旅」

青森学習センター 心理と教育コース 成田 正志

心の中でうごめく何者かに導かれるように入学した私は、その正体を知りたくて心理学などの知識をツールに観察と実験、振り返りと意味づけを心掛けるようになりました。心の中への旅立ちです。怖さもありましたが、ワクワク感もあって冒険のようでした。日課のように続けていたある日、心の中の住人がいなくなったことに気づきました。体験したことのない晴れやかな気分でした。先生や職員、学友や多くの方々の支えがなければ、この素晴らしい体験は得られなかったと思います。感謝で溢れています。5年半をかけた心の旅はいったん終わりますが、すぐに新しい旅に出発します。



「三回目の卒業を目指して」

青森学習センター 社会と産業コース 川村 京子

何時でも、興味のある科目を、安い学費で学べる事を知ってから11年となり、2回目の卒業をする事が出来ました。単位認定試験は難しく大変でしたが、面接授業・ゼミ・また学友会は楽しくて、継続学習できた大きな理由です。「ゆっくり学習」することで、もう少し頑張れるような気がするので3回目の卒業を目指して継続入学する事にしました。



「7年目にしてやっと卒業」

青森学習センター 社会と産業コース 匿名希望

仕事をしながら学習をし、今年度やっと卒業することができました。幅広い年代の方達が学習しており、学ぶことは何歳からでもできるということを実感しました。今後も自分のスキルアップに向けて、何事も意欲的に取り組んでいきたいです。



「放送大学は素晴らしい」

青森学習センター 人間と文化コース 佐藤 章道

放送大学の門を叩いて6年経ちました。2016年4月の入学の頃は不安でしたが、学びの月日を重ねて行くうちに素晴らしい講義に引き込まれ興味をもって各教科に集中できました。このたび幸運にも2回目の卒業と相成りました。放送大学は魅力溢れる大学でした。一念発起して飛び込んでよかったと思っています。

先生方、学習センターの皆様素晴らしい授業ありがとうございました。



「学ぶ気持ち」

八戸サテライトスペース 情報コース 田崎 昇

卒業生の皆さん、おめでとうございます。私は6回目の卒業を迎えることが出来ました。生涯学習として継続入学を続け、約20年間お世話になりました。この間、スクーリングや、テレビ等を通じて、多くの科目を勉強させて頂きました。また好きな宇宙に関する科目を探し、面接授業も受けながら、続けて学んできました。宇宙の始まりから、元素の起源などを知ることができ大変勉強になりました。新しい知識を得る喜びとともに、自信を高めることができ、張りのある生活を過ごすことが出来ました。

先生方のご指導、事務方の皆さんの御協力、仲間の励まし、そして家族の支えに心より感謝いたします。これからも学ぶ気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思っております。ありがとうございました。





2022年度第1学期入学者のつどい

4月2日（土）と4月3日（日）の両日、青森学習センターと八戸サテライトスペースにて「2022年度第1学期入学者のつどい」が行われました。

放送大学学歌演奏や学長挨拶の上映、センター所長式辞、入学生と在学生代表の挨拶、校友会会長祝辞、教職員紹介のほか、オリエンテーションや施設見学などを行いました。



(上) 入学生の挨拶
(左下) 在学生の
歓迎のことば
(右下) 客員教員の挨拶

4/2（土） 青森SC



(上) 入学生の挨拶
(左下) 在学生の
歓迎のことば
(右下) 職員の紹介

4/3（日） 八戸SS



全学生必見！ 学生生活をスムーズに送るために

新学期を迎え、これから放送大学での学習を始める入学生・在在学生の方へのお知らせです。

■ 活用しよう「学生生活の栞」と「利用の手引き」

「学生生活の栞」と「利用の手引き」は、履修に関するきまりや、各種届出様式など、学生生活を送るうえで重要な事項が満載の冊子です。大切に保管のうえ、よく読んでご利用ください。



■ システム WAKABA のパスワード変更はお早めに

システム WAKABA に初期パスワードでログインし、ホーム画面左側にある「パスワード変更」で、初期パスワードから変更をしていただくようお願いいたします。ログインできない場合は、お問合せください。

■ 学生証の受取

学生証は、図書室・視聴学習室の利用や面接授業の追加登録申請、単位認定試験を受験する際（自宅受験を除く）に使用します。

青森学習センター・八戸サテライトスペースの事務室窓口で交付いたします。新規入学・継続入学生は入学許可書を、在 student で学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証を窓口へご持参ください。郵送を希望する方はお問合せください。なお、顔写真を登録していない場合は発行ができませんので、システム WAKABA の「学生カルテ」または「学生生活の栞」巻末様式の「写真票」使用にて速やかに登録してください。



■ 学生教育研究災害傷害保険〈学研災〉への申込み ※任意

教育活動中や通学中における事故補償のための保険です。放送大学は通信教育に区分されており、保険料は100円、通学中の特約を含む場合は140円となります。保険期間は、入学後から学籍が続く限り最大6年間となります。ただし、加入日にかかわらず、4月入学者の保険終期は3月31日に、10月入学者の保険終期は9月30日になりますのでご留意ください。

詳細につきましては、入学生の方は先に送付の『学研災』のごあんないにてご確認ください。

Professional Report

「異化表現について—文学作品を批評的に読む—」

客員教員 尾崎 名津子 (弘前大学人文社会科学部准教授)

今回は、中上健次『枯木灘』の冒頭をご紹介します。そこにどのような異化表現があるか、少し考えてみてくださいとお願いをしておりました。本文は「りんご」第109号にありますので、そちらをご覧ください。

まず、この部分には比喩が満ちています。一文目の「光が撥ねていた。」からしてそうです。「夏」と明記せずとも、物語世界の季節を伝えます。「秋幸のまぶたにぶらさがっていた光の滴」というのも異化表現ですね。言ってしまうと汗なのですが、単に「汗が垂れた」では感興が湧きません。この部分の全体的な特徴は、秋幸という男性が自然と一体化するさまが表現されている点にあり（「秋幸は空に高くのび梢を繁らせた一本の木だった。」という部分も、秋幸と自然の合一を端的に象徴しています）、そこでは汗も「光の滴」となるのです。

文学作品を批評する際には、反復にも着目します。上の部分で気になったことはないでしょうか。文末の文字に注目してください。ほぼ全てが「～た。」と完了形で書かれています。この「～た。」の反復が、文章にリズムを生み出すだけでなく、木や草、土、川の流れ、そして風や光が満ちている山中の光景と、それらに包まれて黙々と体を動かす秋幸という男性の姿だけが、他の何物も介入させずにその世界を成り立たせていることを表現しています。秋幸が自然と一体化していく様子は、「～た。」という言い切りの形の連鎖によって構成されています。

小説の冒頭の段落は、「光が撥ねていた。」に始まり「風は歓喜だった。」に終わります。二文とも異化表現（比喩）で、構文も同じ、つまり呼応しています。その間に秋幸の様子が挟まっていて、この段落はまるで自然と合一していく秋幸を、光と風が祝福しているようにも見えます。

比喩や反復といった、客観的な形式に着目すると、ただ自由に読書する時には見えてこないかもしれない、文学作品の意外な姿が見えてきます。私たちが心を動かされることの背景には、ある程度説明することが可能なさまざまな「仕掛け」があり、その「仕掛け」を発見することが文学研究の仕事の一つだと言えます。

引用・参考文献

- ・中上健次『枯木灘』（河出文庫、初刊1977年）

★退任時の職名を記載しています

★“Professional Report”は、青森学習センターと八戸サテライトスペースの客員教員が、専門分野について2回ずつ連載していくコーナーです。

★「りんご」第109号は、青森学習センターのウェブサイトでご覧いただけます。

2022年度第1学期 客員教員からのごあいさつ



●青森学習センター

火

一條 健司 先生

弘前大学大学院理工学研究科 准教授



相談分野：情報工学
相談日：火曜日10:00～12:00

ゼミ：「コンピュータ科学入門」
指定の火曜日10:30～11:30
教科書指定 1冊あり
開講場所：青森学習センター講義室

弘前大学大学院理工学研究科の一條と申します。専門は情報工学です。特に再構成可能デバイスを活用したコンピュータシステムの設計・開発に関する研究を行っております。

コンピュータや情報通信技術の基本原理について、これらの技術の歴史的背景も意識しながら、ご興味をお持ちの方と一緒に学びたいと思います。

木

戸塚 学 先生

弘前大学教育学部 教授



相談分野：健康科学
相談日：木曜日9:30～11:30

ゼミ：「健康長寿のための運動の理論と実際」
指定の木曜日10:00～11:00
教科書指定なし
開講場所：青森学習センター講義室

弘前大学教育学部の戸塚です。大学では、将来、主に小学校や中学校・高等学校の保健体育の教員を目指す学生を対象に、「運動と健康」「生理学・運動生理学」「体づくりの運動」等の授業を担当しております。

ゼミでは、スポーツ・健康科学的な視点から、安全かつ効率的に健康長寿を具現化するための運動の理論と実践について考えていきます。その時々の特典的な話題を織り交ぜ、皆さんと対話しながら健康を決める力、すなわちヘルスリテラシーのブラッシュアップを図ります。

木

田名場 忍 先生

弘前大学教育学部 教授



相談分野：社会心理学・臨床心理学
相談日：指定の木曜日14:30～16:30

ゼミ：「心理学の研究と研究法へのいざない」
指定の木曜日15:00～16:00
教科書指定なし
開講場所：青森学習センター講義室

弘前大学教育学部では、「社会心理学」の他、「生徒指導・進路指導の理論と方法」等の授業を担当しています。これまで主に対人認知の研究をしてきましたが、臨床心理士としてスクール・カウンセラー等の活動もしてきました。

ゼミでは、心理学の研究と研究法を取り上げます。心理学の研究では、実験や質問紙調査、観察、面接など、様々な研究法が用いられてきました。こうした様々な研究や研究法を学びながら、人の意識や行動の研究には何が必要で大切なのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

金

成田 拓末 先生

弘前大学農学生命科学部 准教授



相談分野：農業経済学
相談日：金曜日9:50～11:50

ゼミ：「持続可能な開発目標 = SDGs と食・農」
指定の金曜日10:20～11:20
教科書指定 1冊あり
開講場所：青森学習センター講義室

弘前大学農学生命科学部の成田拓末と申します。専門分野は農業経済学で、りんごを中心に、果実、青果物、その加工品の流通とマーケティングを研究しています。人類は目下、「持続可能な開発目標 = SDGs」を手がかりとして、地球環境問題や経済格差の解決に挑もうとしています。本ゼミでは SDGs について、食料・農業との関わりに着目しながら、テキストを用いてゆっくりと学んでいきます。

●ゼミ・学習相談は、事務室窓口または電話にて申込みを受付します。①氏名、②連絡先、③ゼミ名または相談日をお知らせください。●ゼミの日程は、都合により変更・中止となる場合もあります。学習センター・サテライトスペース内掲示板や学習センターウェブサイトを確認できない場合は、お電話にてお問い合わせください。また、不測の事態発生の際には、ゼミ・学習相談をオンライン会議形式 (Zoom 等) へ変更する場合があります。

金**今井 正浩 先生**

弘前大学人文社会科学部 教授

**相談分野**：西洋古典学、古典ギリシア語・ラテン語**相談日**：金曜日14:00～16:00**ゼミ**：「プラトン『ソクラテスの弁明』を読む」
指定の金曜日14:30～15:30

教科書指定 1冊あり

開講場所：青森学習センター講義室

弘前大学人文社会科学部の今井と申します。弘前大学では、西洋古典学（ヨーロッパの歴史文化の源流としての西洋古典古代（紀元前8世紀～紀元前5世紀）の政治・社会・文化を専門に研究する学問）、古典ギリシア語・ラテン語の授業等を担当しています。本年度より、放送大学青森学習センター客員教員として、学習相談及びゼミナールを担当します。

本ゼミナールでは、西洋哲学史に登場するビッグ・ネームの一人、ソクラテスという哲学者に焦点をあて、その生涯と死が、現代に生きるわたしたちにとってどのような意義をもつのかを、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

金**藤田 あけみ 先生**

弘前大学大学院保健学研究科 教授

**相談分野**：看護学**相談日**：金曜日16:00～18:00**ゼミ**：「看護学」
指定の金曜日16:30～17:30

教科書指定 1冊あり

開講場所：青森学習センター講義室

保健学研究科の藤田あけみと申します。客員教員として学習相談・ゼミを担当し5年目になります。専門は基礎看護学、臨床看護学、がん看護学で、消化器の手術療法を受けた患者様の看護や生活の質（QOL）、ご家族の支援について研究しています。

ゼミでは、これまでの研究や教育での経験を踏まえ「コーチングのすべて」というテキストをじっくり読み進めています。皆様と一緒に楽しく学ばせていただいています。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

**●八戸サテライトスペース****木****若生 豊 先生**

八戸工業大学 名誉教授

**相談分野**：応用生物化学・環境科学
相談日：木曜日13:30～15:30**ゼミ**：「最新免疫10選 コロナからアルツハイマーまで」
指定の木曜日14:00～15:00

教科書指定なし

開講場所：ユートリー 4階デザイン室

八戸サテライトスペースで学習相談とセミナーを担当します。よろしくお願いいたします。専門分野は生命科学と環境科学で、現在は菊花の神経保護作用について検討しています。コロナ禍を契機に免疫に対する関心が高まりました。セミナーではウイルス感染から神経免疫まで10の最新研究を紹介するとともに、皆さんと意見交換を行いながら一緒に検討します。

金**山本 雄大 先生**

八戸学院大学健康医療学部 准教授

**相談分野**：社会心理学
相談日：金曜日14:00～16:00**ゼミ**：「社会的行動とその心理」
指定の金曜日15:00～16:00

教科書指定なし

開講場所：ユートリー 4階デザイン室

山本雄大です。ゼミでは「心理学の学び直し」をテーマに、心理学概論の教科書の中で必ず取り上げられるような有名な理論に関して、それらがどのような背景のもとで、どのように研究され、どのような結論が出たのかを、原典資料にも目を通しながら詳しく説明していきます。その上で、それらが私たちの日常的な活動の中でどのように確認されるのかについて皆さんと議論をしていきたいと思っています。

●案内チラシや各ゼミのシラバスを、学習センター・サテライトスペースで配布しているほか、学習センターウェブサイトでも公開しております。●ゼミは学期途中からでも参加できます。単位にはなりません。客員の先生や他の学生たちと学べる良い機会です。お気軽にご参加ください。

学生生活をもっと楽しく！各種学生団体のごあんない

★入会ご希望の方は、青森学習センターまたは八戸サテライトスペースへお問い合わせください。

★学生団体の設立について

学生が研究やスポーツなどのため、学生団体（サークル）を結成しようとするときには、学生の中から責任者を定め、「学生団体結成願」等の必要書類を4月または10月に責任者が所属する学習センターへ提出し、設立の許可を受ける必要があります（「学生生活の栞」教養学部版 P117参照）。詳細については、青森学習センター事務局へお問い合わせください。



青森同窓会

「青森同窓会から ～コロナ禍3年目での同窓会活動～」

青森同窓会会長 関川 宏明

昨年度は、5月に八戸で定例総会を開催したほか、4月と10月には卒業式の後に祝賀会を開催するなど、徐々にではありますが、活動を再開しております。一方、例年開催しております日帰りでの旅行や、同窓生と在学生とが交流を深める機会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から、活動を制限せざるを得ない状況が続いております。

今年度は、感染拡大防止に配慮しながら活動を再開したいと考えており、5月の定例総会をはじめ、同窓生と在学生とが交流を深めることのできる行事をいくつか計画しております。

実施にあたっては、オンラインでの開催も想定しておりますが、放送授業中心の環境では、普段から卒業生在学生同士の交流が少ないことから、可能な限り対面での交流会ができればと考えております。



ミステリーサークル

「ミステリーサークル・会員募集中！」

ミステリーサークル総長 上野 光弘



ミステリーサークルは、学生相互の研鑽、親睦と交流を目的に活動しています。会費は無料です。学習相談も実施しております。入会したい方は、サテライト事務まで

ご連絡下さい。

写真は、文化祭でのくじ引きとコーヒーコーナーのものです。

月に一回ペースで部屋を確保し、マジックレクチャーや学習の進捗状況の確認などの情報交換をし、交流しています。その時には、お子さん連れやお友達と一緒にでも大丈夫ですので、ぜひ一度遊びにいらしてもらえたらと思います。



学友会

「学友会を、情報交換の場とませんか!!」

学友会会長 田澤 豊



放送大学は、学生間の繋がりが希薄な大学です。情報・学習方法の交換・息抜き方法を見つけるため、学友会に参加し、交流の場としましょう。

春は「観桜会」、秋は「そば打ち」などを開催し、親睦と情報交換を行ってまいりましたが、令和2年度からは、コロナの影響で、残念ですが活動が休止状態です。今後は、コロナ対策をしながら活動を再開していこうと考えております。

今は、人と人のコミュニケーションの取り方が、リモートなど多種多様になりましたが、基本は、直接「顔と顔を合わせ話す事」ではないでしょうか。

是非、学友会への参加をお願いします。申込受付はセンター事務局にお願いしております。



サイコロサークル

「サイコロサークル勉強会から

～～行動分析って身近ですね」

サイコロサークルでは、「リハビリテーションのための行動分析学入門」をテキストとして、月2回のペースで勉強会を行っています。行動分析学というと難しいと感じる方もおられるかもしれませんが、朝ドラで例を觀ました。

駆け出しの役者が真冬の土左衛門役で体が冷たくなった時に、目の前で焼いてくれた熱々の回転焼きを食べたら生き返った気がして頑張ろうと思ったという出来事がありました。このときから、やめようと思った時や気合を入れようと思った時にはあの店の回転焼きが食べたくなるというストーリーです。

行動分析は、「どんなとき、なにをしたら、どうなった」に着目します。「どんなとき」は「寒い、辛い」ときに、「なにをしたら」は「温かくて甘い回転焼き」を食べたら、「どうなった」は「生き返った気持ち、頑張ろう」と思ったとなります。良い結果は「どんなとき、なにをしたら」に影響します。良い結果は効果が高いことから、「やめようとか気合を入れたいと思うときは、回転焼き」を食べたくなったと考えました。身近な出来事で妄想すると、お母さんが丹精込めて作ったおやつを食べたら、お子さんが勉強したくなったというのはいかがでしょうか。色んな活用ができそうですね。ぜひ、サークルをのぞいてみてください。

4月・5月・6月・7月のスケジュール

閉所日
 面接授業
 試験
 通信指導提出締切

	月	火	水	木	金	土	日
4月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

	月	火	水	木	金	土	日
5月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

	月	火	水	木	金	土	日
6月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			

	月	火	水	木	金	土	日
7月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

●第1学期面接授業●

●定員に余裕のある科目について、面接授業追加登録を受付中です。空席状況・受付期限等の詳細は、青森 SC・八戸 SS へお問い合わせください。

●不測の事態により対面の面接授業が開講できない場合は、科目によって、Web授業による実施または閉講のいずれかへ変更となります。詳しくはシラバス等をご確認ください。

4月

- 2日(土) : 2021年度第2学期学位記授与式・2022年度第1学期入学者のつどい(青森)
- 3日(日) : 2021年度第2学期学位記授与式・2022年度第1学期入学者のつどい(八戸)
- 16日(土) : 2022年度第1学期面接授業
【12時】空席発表・追加登録事前申請受付開始《~4/20》
- 21日(木) : 2022年度第1学期面接授業
追加登録先着申請受付開始《~各科目の受付期限日》

面接授業

- 16~17日 : 「青森の刺し子と衣生活文化」(八戸)
- 23~24日 : 「青森りんごの歴史と経済」(青森)

5月

- 1日(日) : 2022年度夏季集中科目履修生(司書教諭)出願郵送受付開始《~5/31本部必着》
- 9日(月) : 2022年度第1学期通信指導提出受付開始【Web】
- 16日(月) : 2022年度第1学期通信指導提出受付開始【郵送】
- 31日(火) : 2022年度第1学期通信指導提出締切
《Web は17時まで/郵送本部必着》

面接授業

- 7~8日 : 「自然地理学で学ぶ青森」(青森)
: 「現代社会における生と死を考える」(八戸)
- 21~22日 : 「心理学実験3」(八戸)
- 28~29日 : 「都市を社会的にとらえる」(青森)
: 「沿岸域の防災と環境」(八戸)

6月

- 5日(日) : 卒業研究ガイダンス(青森)
- 10日(金) : 2022年度第2学期出願受付開始(Web・郵送)
《~9/13 教養学部・大学院修士選科生・修士科目生》

面接授業

- 4~5日 : 「明日の健康と予防への取り組み方」(青森)
: 「食品の科学」(八戸)
- 11~12日 : 「性の多様性と偏見・差別」(青森)
: 「心理学実験2」(青森)
: 「社会福祉制度と私たちの暮らし」(八戸)
- 18~19日 : 「グローバル化・食料と消費者」(青森)
: 「環境と生物-種差海岸で考える-」(八戸)
- 25~26日 : 「戦争と平和-その法と歴史」(青森)
: 「発掘が語る縄文文化」(青森)
: 「21世紀の世界」(八戸)

7月

- 15日(金) ~26日(火) : 2022年度第1学期単位認定試験
(Web受験方式)

重要

●2022年度第1学期の単位認定試験は、7月15日~26日に、Web受験方式(一部科目については郵送受験方式)にて実施いたします。自宅等からインターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・回答提出を行います。大学院と教養学部いずれも同様の日程となります。

面接授業

- 2~3日 : 「白神学-白神の動物と植物」(青森)
- 9~10日 : 「近代青森のあゆみと暮らし」(青森)

